

2026年3月期決算説明資料

三晃金属工業株式会社

証券コード：1972

2026年4月24日

2026年3月期決算概要

事業環境

- 当事業年度の需要の前提となる2025年度の全国非住宅鉄骨造着工床面積は、**前期比4.8%減少**
- 全国非住宅鉄骨造着工床面積の内、当社工事物件に関する工場・倉庫においては**前期比11.9%減少**
- 諸資材価格は総じて**高い水準で推移**

➤ 業績ハイライト

売上高は、工事の比較的順調な進捗及び成型品販売の増収により**3.7%増収**の470億円

経常利益は、増収による利益増はあったものの、工事原価及び製造・施工強化対策費用の増加等による売上総利益率の低下により**7.1%減益**の38億円

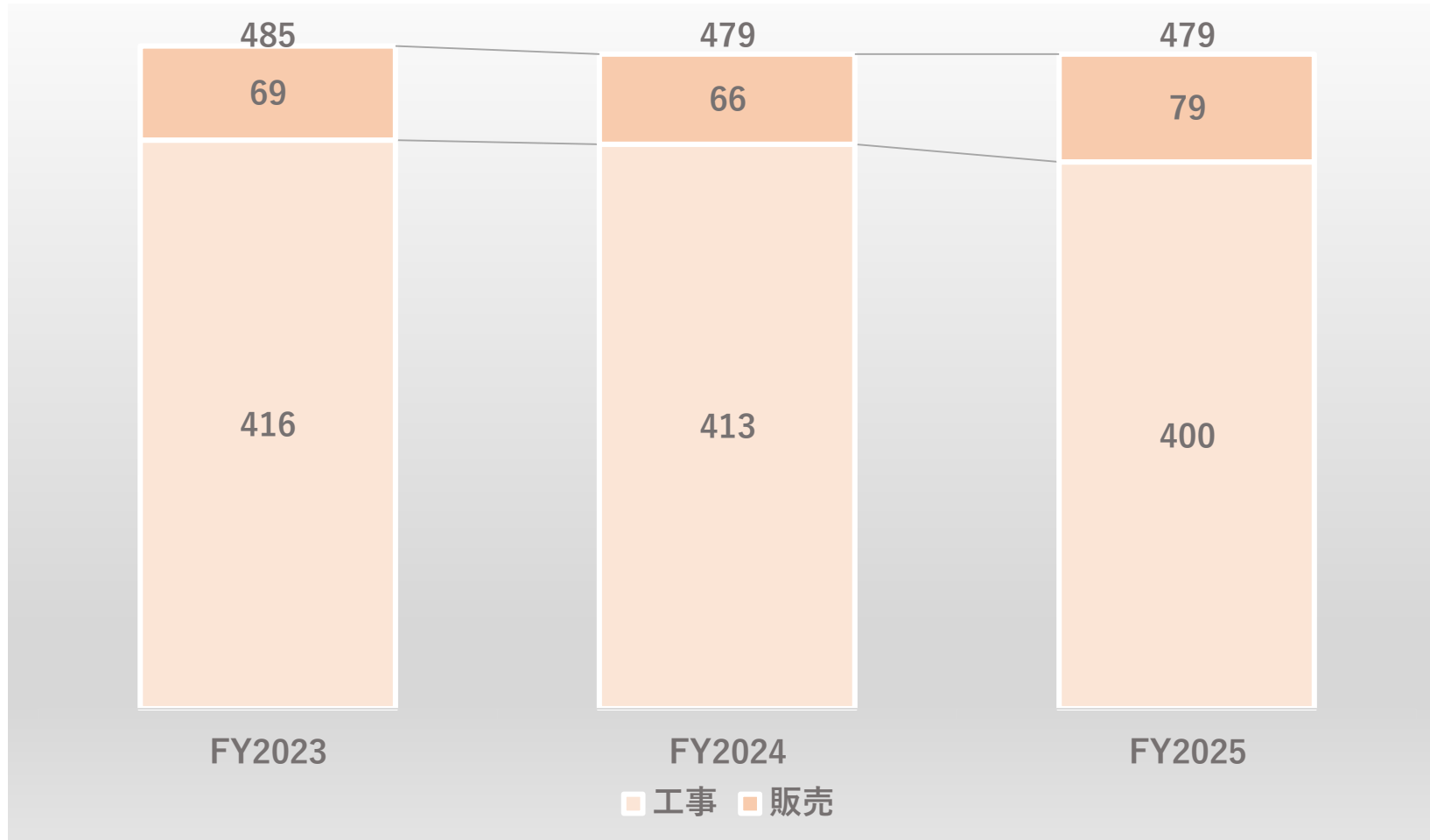
ROEは**9.7%を計上**

単位：億円

	FY2023	FY2024	FY2025	対FY2024
売上高	429	453	470	+17
売上総利益	93.5	99.1	97.6	-1.5
売上総利益率	21.8%	21.9%	20.7%	-1.2%
販売費及び一般管理費	56	58	60	+2
経常利益	37	41	38	-3
当期純利益	26	29.4	26.5	-2.9
R O S (売上高経常利益率)	8.6%	9.1%	8.2%	-0.9%
R O E (自己資本利益率)	10.8%	11.3%	9.7%	-1.6%

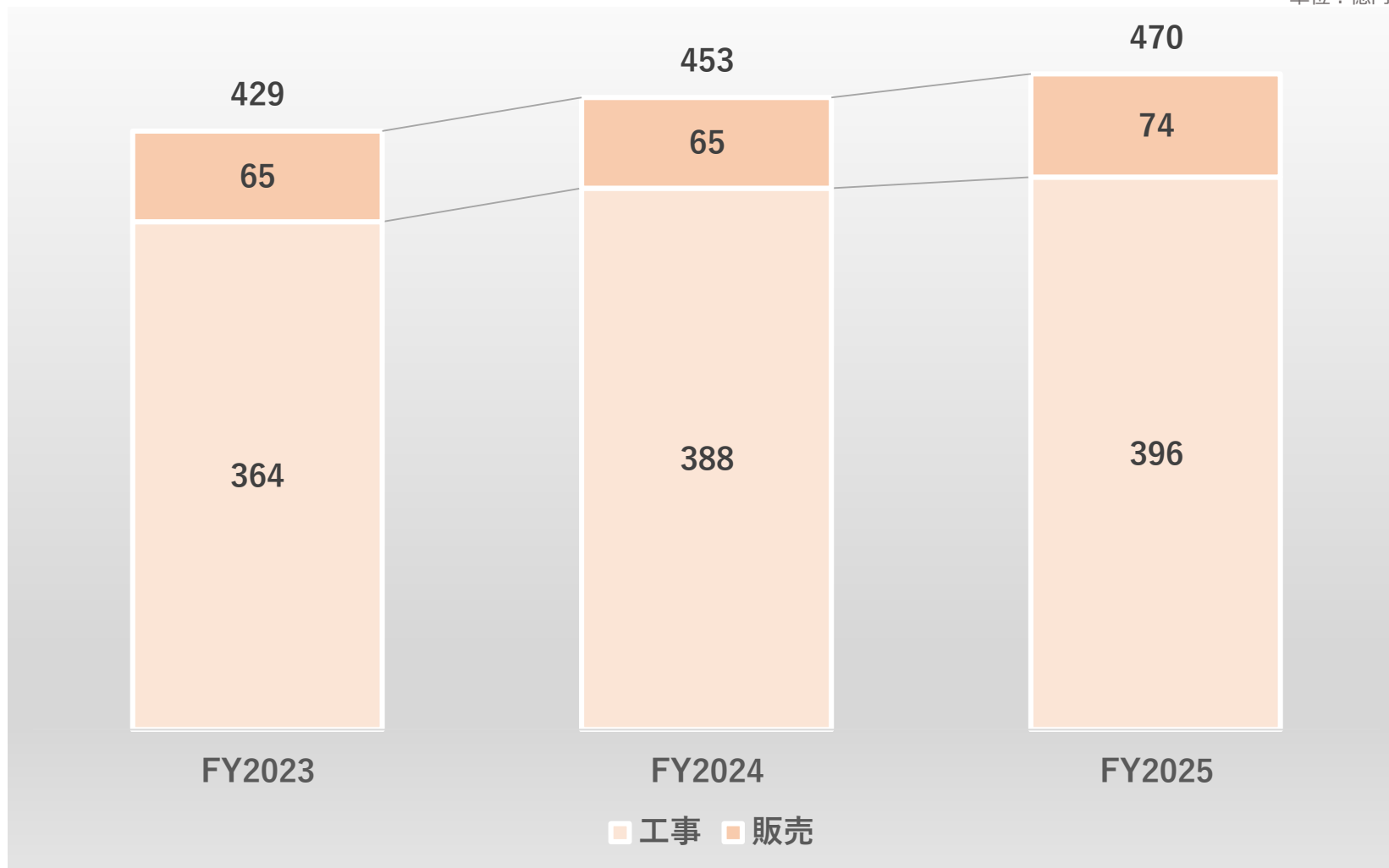
需要前提となる全国非住宅鉄骨造着工床面積が前期比で大きく減少する中、改修ニーズ捕捉による改修工事、成型品販売の受注増により479億円を計上し高いレベルを継続

単位：億円



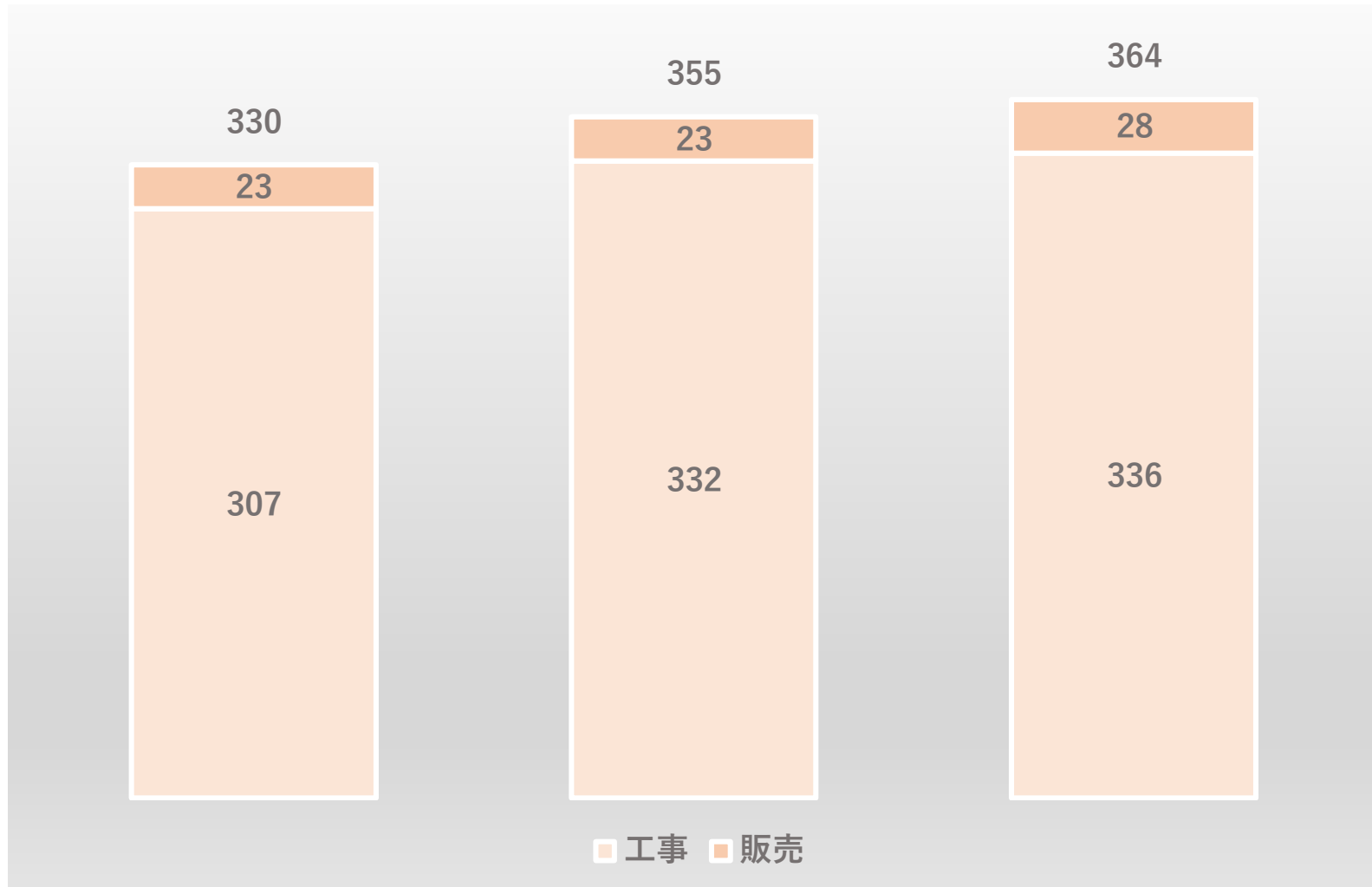
工事の比較的順調な進捗及び成型品販売の増収などにより
前期比17億円（3.7%）増収の470億円

単位：億円



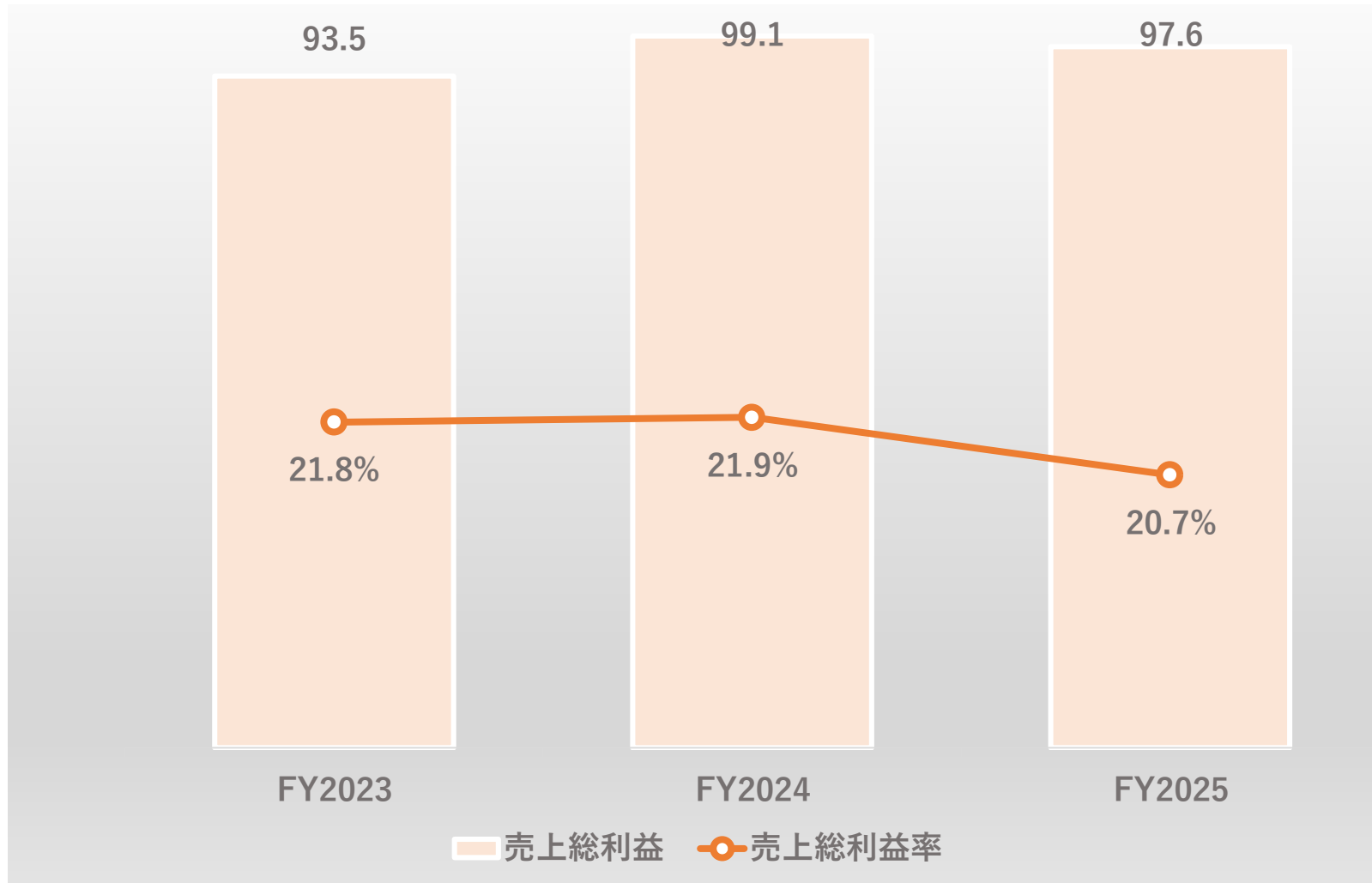
屋根工事・製品販売ともに受注残高が増加し**前期比+9億円**
(+2.5%増)の**364億円**となり**過去最高を更新**

単位：億円



増収による利益増はあったものの、工事原価の上昇により売上総利益率は**前期比-1.2%**低下し**156百万円(1.6%)減益**の**97.6億円**

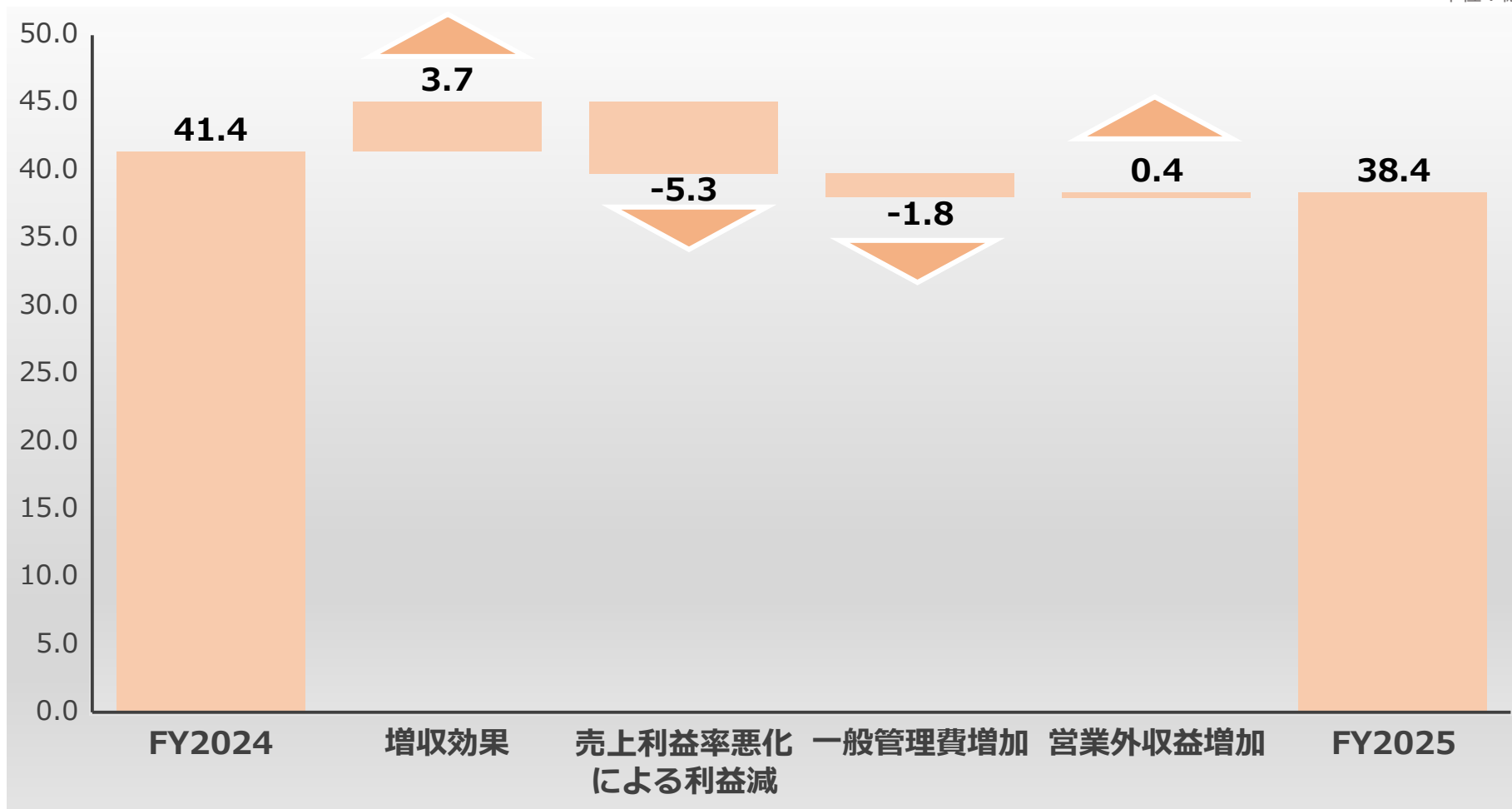
単位：億円



➤ 経常利益増減分析

増収効果+3.7億円（+9%）、売上利益率悪化影響-5.3億円（-13%）
 本社移転関連コストの計上等一般管理費増加1.8億円、営業外損益改善0.4
 億円により**前期比7.1%減益**の38.4億円

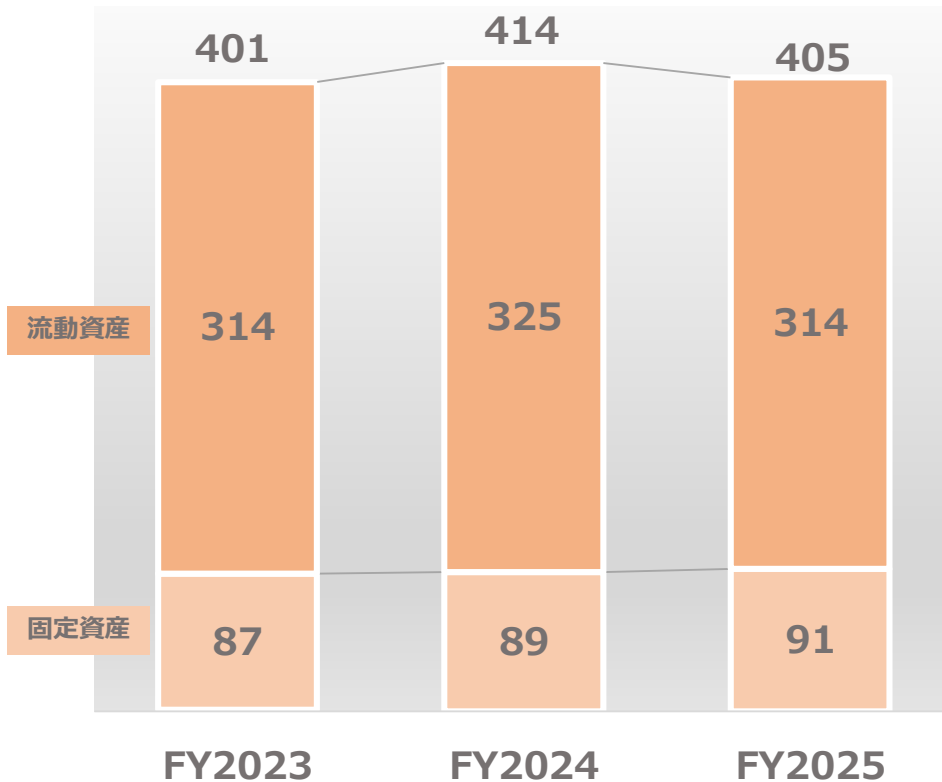
単位：億円



流動資産（電子記録債権、現金預金）、流動負債（電子記録債務）の減少等により総資産は**9億円減少**の405億円

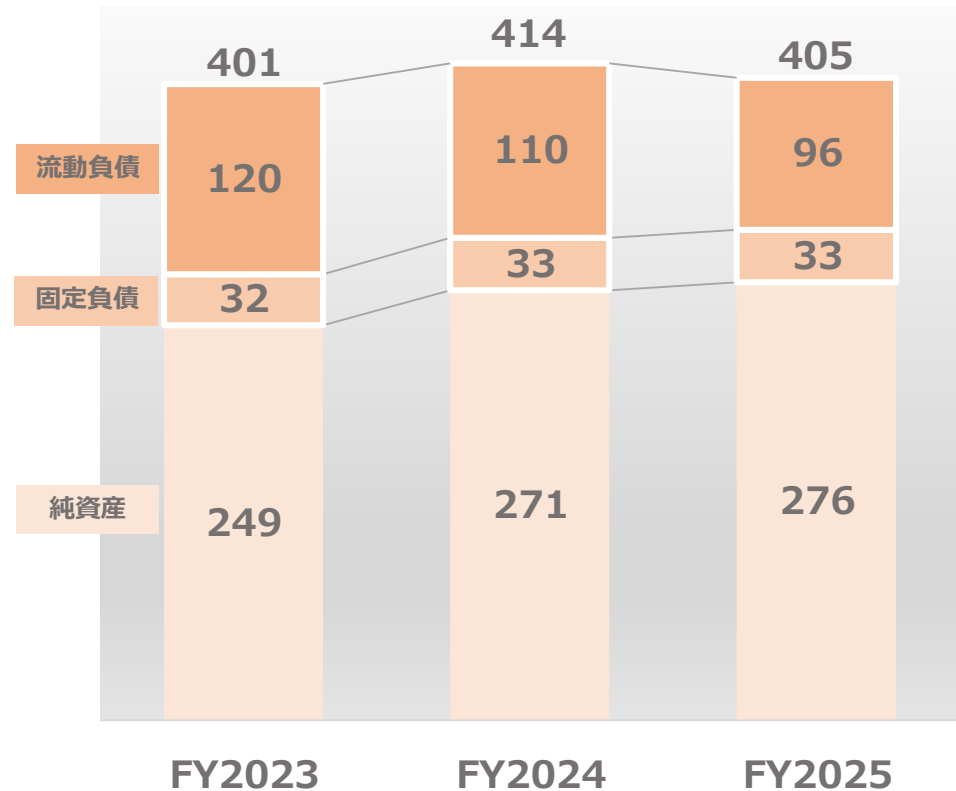
■ 資産の部

単位：億円

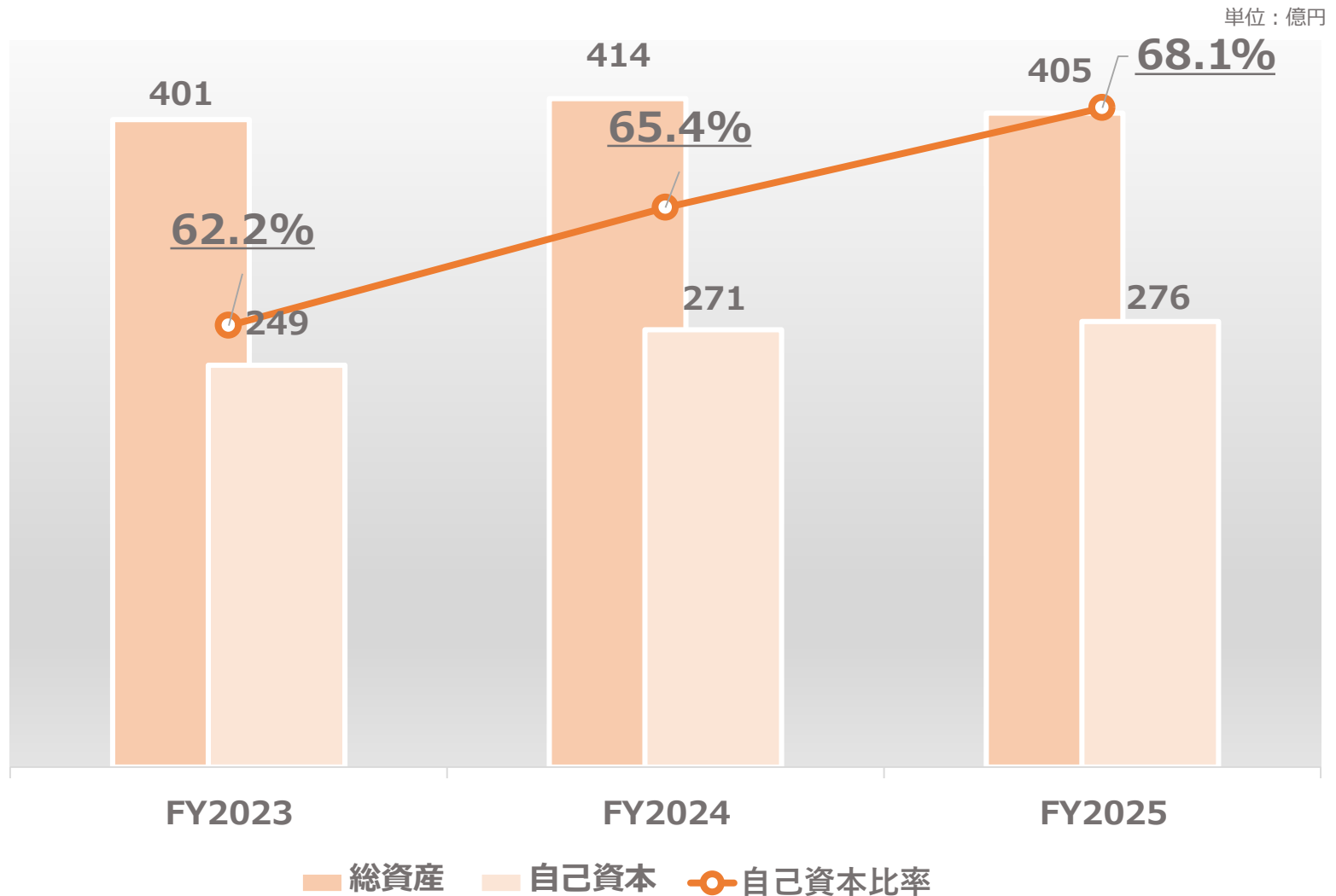


■ 負債・純資産の部

単位：億円



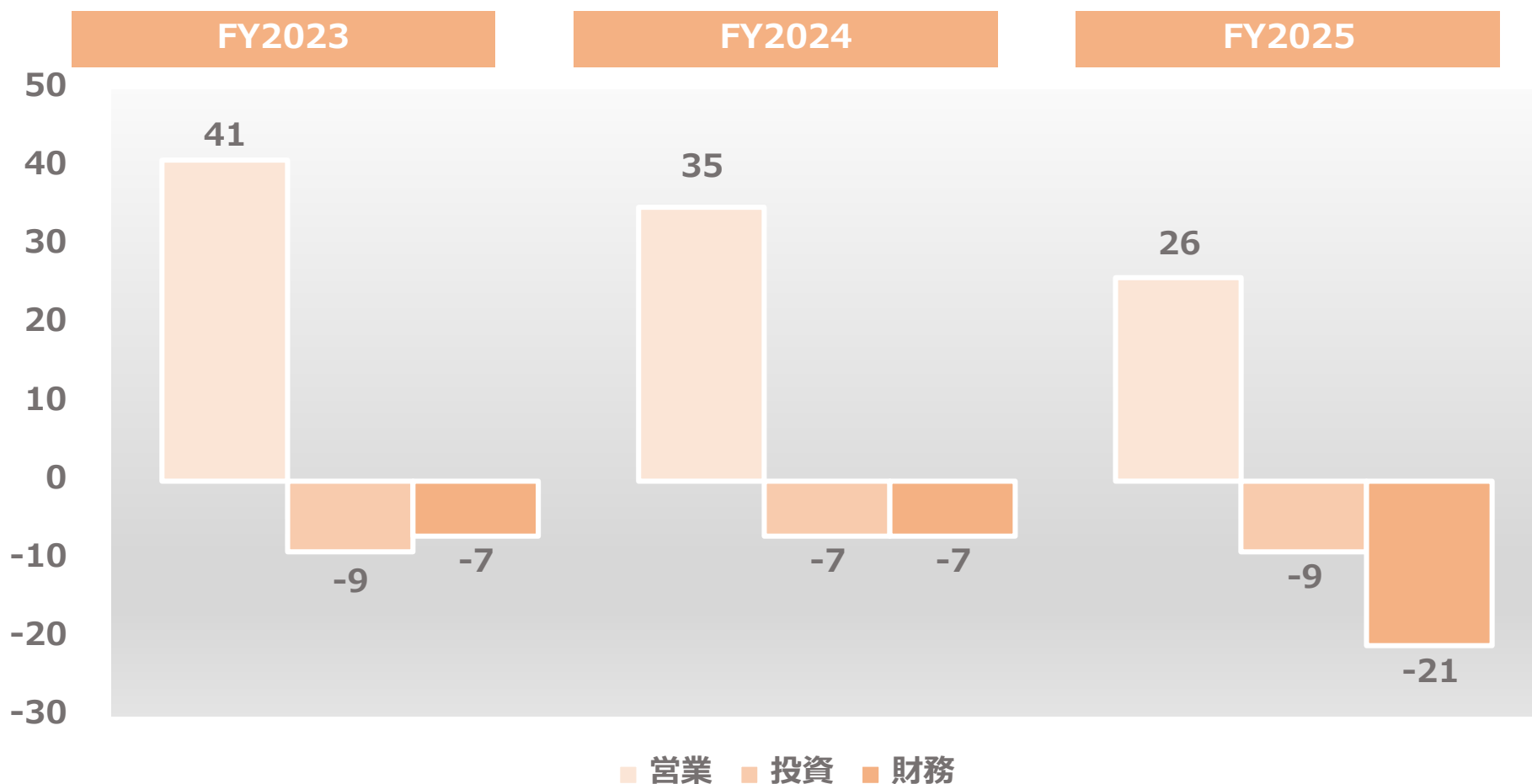
自己資本比率は**68.1%**と前期比**2.7%**上昇



➤ キャッシュフロー

投資CFは定期性預金（6ヶ月）の預け入れによる支出95億円を除いて表示
財務CFは前期配当金に加え中間配当の実施初年度により大幅増加

単位：億円



2027年3月期 業績予想

➤ 2027年3月期の見通し

事業環境

- 新築需要は引き続き減少の見通し
- 人手不足に起因する前工程の遅延、建設コスト高騰による建設計画の中止・延期
- 中東情勢の影響による資材調達懸念、調達価格上昇など先行きは一段と不透明

➤ 2027年3月期の見通し

当社方針

- 営業面では技術提案を中心に設計織込み営業を強化
競争力のある商品と工法を市場に投入し、さらに受注を拡大
- 工事面では引き続き高レベルの期首受注残高を維持しており、
工事施工の確実な実行に注力
- 資材・労務・物流・設備等のコストアップの転嫁と一層のコスト
ト低減強化
- 「施工品質」と「製造品質」の向上
(2026年4月に品質管理部を新設)
- 現場生産性の向上を進め、「業界最高レベルの商品力・営業
力・工事力」による好循環を創出

売上高は、前期レベルの**470億円**

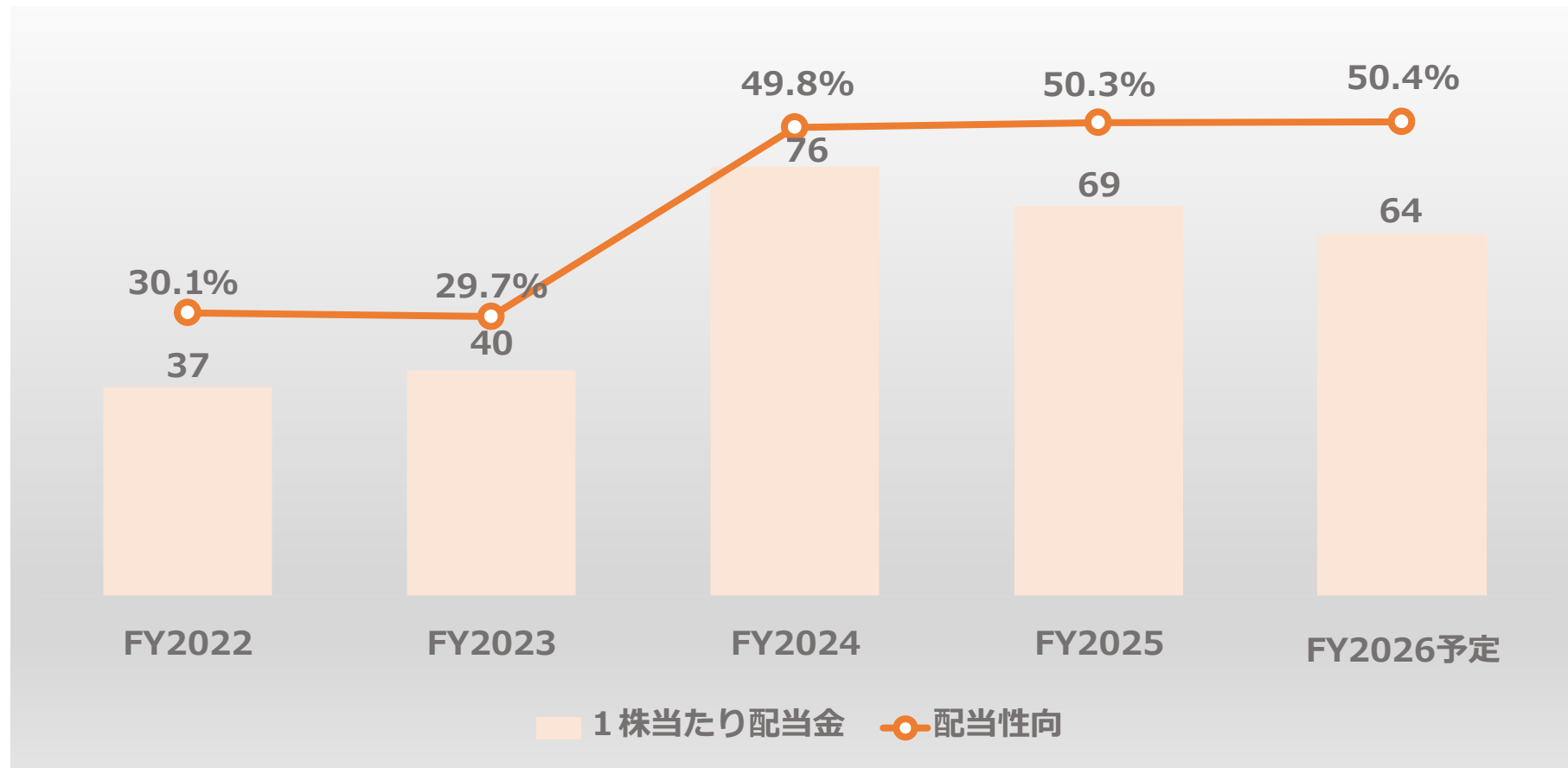
市場環境悪化及び将来に向けた労務費の増加と品質向上のための生産設備
関連費用の増加等を織り込み、**経常利益は2.4億円(6.3%)減益の36億円**

	FY2025	FY2026 業績予想	対FY2025 比較	単位：億円
売上高	470	470	-	
営業利益	38	35	-3	
経常利益	38.4	36	-2.4	
当期純利益	26.5	24.5	-2	
R O S (売上高経常利益率)	8.2%	7.7%	-0.5%	

本資料に記載されている当期の業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づき作成したものでありますが、昨今の中東地域における地政学的リスクの高まり、それを発端とするサプライチェーンの混乱による資材の調達難、原油価格の高騰並びに石油由来原材料の価格上昇等の不確実性につきましては、現時点においてその影響額を合理的に算定することが困難であることから、本業績予想には織り込んでおりません。

➤ 配当実績・予定

2024年度より配当性向目安を30%から50%に見直し
同方針により、2025年度は**69円/年配当**、2026年度は**64円/年配当**を予定
中間配当は上記内数として、25年度**34円**、26年度**30円**を予定



※2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施
過年度についても株式分割後と仮定して表示

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としております。

本資料には将来の見通しに関するものが含まれておりますが、これらの情報は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいたものであり、将来の業績予想を保証するものではありません。

今後、新しい情報・出来事があった場合において、本資料に含まれるいかなる情報についても、更新又は改定を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

三晃金属工業株式会社 経理部

[TEL:03-5446-5601](tel:03-5446-5601)

[FAX:03-5446-5629](tel:03-5446-5629)